

第七次熊本県環境基本計画

令和8年（2026年）3月

はじめに

私たちが暮らす熊本県は、豊かな地下水とそれを育む雄大な阿蘇、天草の海や有明海、八代海など豊かで多様な自然に恵まれています。

今年は、水俣病が公式に確認されてから70年という節目の年となります。私たち熊本県民は、公害の原点と言われる水俣病を通して、環境破壊の恐ろしさとその復元の困難さを教訓として学びました。この教訓を国内外に広く発信するとともに、快適な環境を創造し、それを次世代へ引き継ぐことは、私たちの重要な責務です。

こうした中、地球温暖化やそれに伴う気候変動によって生じる様々な環境問題への対応や、近年の半導体関連企業の県内進出などを契機とした地下水の保全に向けた取組み等の重要性が高まっています。

熊本県では、こうした環境を取り巻く状況を踏まえ、「第七次熊本県環境基本計画」を策定しました。

本計画では、第四次熊本県環境基本指針に定める、「ゼロカーボン社会」「循環型社会」「自然共生社会」「安全で快適な生活環境」「様々なリスクに備えた社会」という5つの目指すべき目標を実現するため、分野ごとの現状、課題及び施策の方向性を示しています。

熊本県の豊かで多様な自然と共生し、快適な環境を未来に引き継いでいくためには、県民、事業者及び行政が連携し、一人一人が環境に配慮した行動を実践していくことが欠かせません。

熊本県では、本計画に沿って、環境施策の総合的かつ効果的な推進に努めて参りますので、県民の皆様の御理解と御協力、そして積極的な御参画をお願い申し上げます。

令和8年（2026年）3月

熊本県知事 木村 敬



【目次】

▶第1編 計画の基本的事項

1	基本計画策定の趣旨	1
2	基本計画の性格・位置付け	1
3	基本計画の対象地域・期間	3
4	基本計画の構成	3

▶第2編 環境を取り巻く状況

1	国内外の主な動き	7
2	前計画の成果と今後の課題	11

▶第3編 重点テーマ

1	熊本地域の地下水	18
2	最近の動向	20
3	目指す姿・取組みの方向性	21

▶第4編 分野別計画

第1章 ゼロカーボン社会・くまもとの推進 23

第1節 地球温暖化対策の推進【区域施策編】 23

1	地球温暖化対策の現状	23
2	2050年ゼロカーボンに向けたロードマップと目標等	35
3	温室効果ガス排出削減に向けた部門別取組み	46
4	温室効果ガス排出削減及び吸収等に向けた横断的な取組み	66

第2節 県の事務・事業における温室効果ガス排出削減

（地球温暖化防止に向けた県庁率先実行計画）の推進【事務事業編】 77

1	これまでの取組み	77
2	対象となる事務・事業	77
3	県の事務・事業における温室効果ガスの排出状況	77
4	温室効果ガスの排出量削減目標	79
5	目標達成に向けた取組み	79

第2章 サーキュラーエコノミー（循環経済）への移行の実現 86

第1節 サーキュラーエコノミー（循環経済）の推進 86

1	サーキュラーエコノミー（循環経済）への移行に向けた基盤づくり	86
---	--------------------------------	----

第2節 適切な廃棄物の処理等の推進 91

1	廃棄物の排出抑制、再使用、再生利用、熱回収等の推進	91
2	廃棄物の適正処理の推進	93
3	バイオマスの利活用の推進	95
4	災害廃棄物の適正処理	96
第3章	熊本の恵みを未来につなぐ自然共生社会の実現	100
第1節	森林、草原、水辺等の自然環境の保全	100
1	保全のための総合的な対策の推進	100
2	多様で豊かな森林づくり	101
3	二次的自然環境（里地里山や阿蘇の草原など）の保全・再生	102
4	野生鳥獣の保護・管理の推進	105
5	水辺環境の保全・再生	106
第2節	生物多様性の保全に係る対策の推進	108
1	生物多様性の保全	108
2	生物多様性の恵みの持続的な利用	110
3	生物多様性を守り生かす社会づくり	112
第4章	安全で快適な生活環境の確保	115
第1節	水環境に係る対策の推進	115
1	健全な水循環の確保（安定的な水量の確保）	115
2	水質の保全策の強化（きれいな水を守る）	121
3	豊かな川と海づくりの推進（有明海・八代海再生）	124
第2節	大気環境に係る対策の推進	126
1	大気環境の監視	126
2	発生源ごとの対策	126
第3節	オゾン層の保護対策の推進	129
第4節	騒音、振動、悪臭、光害などの対策の推進	130
第5節	土壌汚染対策の推進	131
第6節	化学物質・放射性物質の環境リスクの評価・管理	132
第7節	水銀フリー社会の実現に向けた取組み	134
第8節	緑と水のある生活空間の保全・創造	135
第9節	良好な景観及び文化財の保全・創造	137
第5章	リスクに備えた社会づくりと球磨川流域における「緑の流域治水」の更なる推進	142
第1節	気候変動の影響への適応策の推進	142
1	基本的事項	142

2	熊本県の特徴	143
3	気候変動適応に関する分野別施策	146
第2節	大規模災害への備え	169
1	自然生態系の活用やエネルギーの確保等による災害時への備え等	169
2	災害廃棄物の適正処理	173
第3節	球磨川流域における「緑の流域治水」の更なる推進	174
第6章	環境立県くまもと型未来教育	177
第1節	未来を支える人づくり	177
1	未来を支える熊本の人づくり	177
2	地域資源を活用した環境教育・学習の充実	178
3	水俣病をはじめとする環境に関する様々な課題への対応	179
4	情報発信の充実	181
第2節	豊かなくまもとを守り育てる地域づくり	183
第7章	持続可能な環境の創造に向けた仕組みづくり	185
第1節	「地域循環共生圏」の構築の推進	185
1	「地域循環共生圏」の構築に向けた基本的な取組み	185
2	分野別の「地域循環共生圏」の取組み	185
第2節	環境アセスメントの推進	192
第3節	試験研究機関における取組み	193
1	保健環境科学研究所	193
2	産業技術センター	193
3	農業研究センター	194
4	林業研究・研修センター	195
5	水産研究センター	195
第4節	研究情報等のネットワーク化	197
第5節	国際協力の推進	199

